

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、模擬試験の個人成績表を活用して、その後の学習へとつなげていく「模擬試験振り返りシート」のあり方について検討する。

Before

広島県・広島市立舟入高校
赤尾 元先生提供

「模擬試験自己分析シート」

課題

- 1 できたこと、できなかったことを踏まえて、次の模擬試験までに自分はどんなことに取り組むべきかについて考える自己分析が、表面的な内容にとどまっている生徒がいる
- 2 次の模擬試験までに取り組むべきことが具体的に書けても、それを実際の行動に移せない生徒がいる

検討メンバー



ツール提供者

広島県・
広島市立舟入高校

赤尾 元

あかお・はじめ



千葉県立君津高校

小山和紀

こやま・かずき



兵庫県立北条高校

衣川顕子

きぬがわ・あきこ

〇〇模擬試験 月 自己分析シート

氏名	所属	学年
----	----	----

自己分析とは
 ●自分の「強み」と「弱み」を知ること
 ●何を感し、どのように考え、どう行動に移すか

●全科目偏差値の推移

模擬試験	科	得	評
3教科総合			
英語			
数学			
国語			

●月の模擬試験の結果を受けて自分が「できている分野」、「できていない分野×」、それぞれの「原因」を分析してみよう
 (裏面のSTEP3設問別成績も参考にしてみてください)

●～目標に近づくために～「何」を「いつ」取り組むのか、月の模擬試験に向けた対策を考えよう。

	月の模擬試験を終えて		月の模擬試験に向けて	
	目標	計画	計画	具体的な方策
英語	○	×	○	
数学	○	×	○	
国語	○	×	○	

広島県・広島市立舟入高校の赤尾 元先生は、1、2年生の模擬試験の受験後、その結果に一喜一憂することなく、次の学習につなげさせるための振り返りを重視している。

振り返り時に活用する自己分析シートでは、各教科・科目のできたところ、できなかったところを整理させているが、「古文の文法ができなかった」「単語を覚えていなかった」など、振り返りの内容が表面的で、「次の模擬試験までに何にどう取り組むのか」が十分に考えられていない生徒も散見されるといふ。また、自分が掲げた計画に沿って、具体的な学習行動を持続させるための仕かけの必要性も感じている。

学習行動の改善につながる 模擬試験の振り返りが必要

1、2年生 模擬試験振り返りシート

After

改良ポイント

1 肯定的に自身の学習を振り返らせる

今回の模擬試験の結果を見て、できなかったところや不足していた点ではなく、よかった点とその理由を振り返らせた上で、改善すべき点を考えさせる。

2 学習方法や学習内容を教師が具体的に例示する

各教科担任が今回の模擬試験を振り返り、今後、取り組むべき学習内容や、心がけたい学習方法を例示し、学力向上のための適切な学習行動を持続させる。



1年〇〇月模擬試験 振り返りシート

1年 組 番 氏名

1 今回の模擬試験の得点を確認しよう。

教科	得点		
	7月	11月	1月
英語	30	40	
数学	40	45	
国語	75	56	

2 今回の模擬試験を振り返り、よかった点・今後取り組むべきことを書こう。

	①よかった点を書こう (どのようによかったのか、その理由まで書こう。よかった勉強法なども書いてみよう)	②一番振り返りをした 大問(分野)もしくは、 問題を書き出してみよう	③②の振り返りを踏まえた 勉強をするために、右 の「オススメ勉強法」を 見て、どれに取り組むか を書いてみよう(自分に合 う勉強法がない場合は、 自分に合った勉強法を書 いてみよう)	次 回 の 目 標 得 点
英語				
数学				
国語				

◎各教科の先生からのオススメ勉強法。自分の振り返り内容に合った勉強法を選び、実行しよう

	オススメ勉強法	
英語	単語	• 学校指定の単語帳を、チェックをつけながら音読。各単元 50 回制覇する
	長文読解	• スラッシュを入れながら長文を読む。読み終えたらスラッシュの位置が正しいかどうかをチェックする • スラッシュを入れた長文を音読。CDがあれば音声にかぶせて一緒に読むと、リスニング力も身につく
	その他	• 教科書の CD を流しながら、文字を見ずに耳からイン、口からアウト、頭の中で和訳する (リスニング、読解力、並べ替え対策として)
数学	間違えた問題を、右の手順で解き直す	①まず、できなかった問題を「解き方が分からなかった」「公式を覚えていなかった」「計算を間違えた」の原因別に分類する ②次に、 • 解き方が分からなかった問題は、解答解説を見ながら解答の流れを理解する • 公式を覚えていなかった問題は、その公式を確認し、教科書の練習問題を解く • 計算を間違えた問題は、間違えた箇所を確認し、もう一度解く。解くことができたなら、次回、同じ計算が出てきた時に気をつけるポイント (因数分解、展開、移項、代入に気をつける、など) を書く ③最後に、時間を意識しながら、間違えた問題を繰り返し解き、問題集等で類似問題を何度も解く。解くことができたなら、次回の模擬試験等で、同じような問題が出てきた時、解くために大切であると思うこととそう思う理由を書く
	大問1 (評論)	好きな新書10ページ程度を最後まで読み通す (文章持久力をつける)
国語	大問2 (小説)	正解の構文や解答要素を研究し、自身の心情表現を増やす
	大問3 (古文)	文法事項のヌケモレを問題の中でチェック
	大問4 (漢文)	失点にかかわった句形の例文を10回声に出して読む。書き下す。白文で読む

「何が、なぜ、できたのか」「今日から何をやるのか」を問う

各教科・科目のどの分野ができなかったのかは、生徒が語るまでもなく、模擬試験の個人成績表によって明らかになっている。生徒が語るべきは、「どのような学習によって、どのような成果が得られたのか」という振り返りと、「どのような目標に向けて、どのような学習に取り組むのか」という見通しだ。

そこで、「振り返りシート」と改称もした改訂後のシートでは、「何が、なぜ、できたのか」を語らせることにした。その上で、教師のアドバイスを参考に、具体的な学習内容や学習方法について考えさせることで、学力向上と学習行動には強い結びつきがあることを生徒により意識させられるようにした。

次ページでは、3人の先生方の検討の様子をダイジェストで紹介!



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

1、2年生 模擬試験振り返りシート

学習の道標となる助言を 振り返りシートに盛り込む

模擬試験を学力向上のきっかけとするためには、その結果を分析し、これまでの学習を振り返って、今後の学習の見通しを立てることが必要である。そして、模擬試験の成績は日々の授業や家庭学習における取り組み状況が反映されたものであることをしっかりと理解させることが重要である。今回の検討会では、模擬試験の結果と日々の授業や家庭学習を「よかったこと」という視点で結びつけることから、シートの改訂の議論が進められた。

次の模擬試験に向けて生徒に求められるのは、目標達成のための学習方法



活用の流れ

- 1 学年団で行われる模擬試験の結果検討会などで、今回の結果を踏まえた今後の教科別の学習方法を共有
- 2 模擬試験振り返りシートに「オススメ勉強法」を掲載し、生徒に個人成績表と一緒に配布する
- 3 模擬試験振り返りシートを担当が回収し、記入内容を基に生徒の学習をサポートする

の立案とその実行である。だが、1、2年生は自分に合った学習方法が身につけていないことも多く、地道な学習が学力向上に結びつかない生徒もいる。そのような生徒には、次の模擬試験までに確実に理解しておきたい単元や問題を教科・科目ごとに伝え、その生徒に合った学習方法で取り组ませることが重要である。そこで検討会では、学習方法を立案する上でのヒントを、各教科担任から提供してもらい、それをシートに掲載するという案を採用した。特に学力中・下位層の生徒については、「この学習を進めれば、次の模擬試験でばん回できるはず」といった前向きな状態を模擬試験の振り返り時につくることが重要だという認識で一致した。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

前向きな振り返りには生徒同士をつなぐ可能性がある

広島県・広島市立舟入高校 赤尾 元 あかお・はじめ



今回の検討会で私が学んだのは、「このように勉強したから、これができるようになった」と前向きに振り返る視点の大切さです。本校の生徒は、勉強に対してよい意味でのプライドを持っていますが、それ故、振り返りでは「できなかったところ」ばかりに目が向きがちです。また、「何ができなかったのか」は言えても、「なぜ、できなかったのか」までは分析ができていないため、学習方法の改善に結びつきにくかったように思います。「これをやったからできるようになった」という視点を持つことで、「何をすれば、何ができるようになるか」といった見通しを持てるという気づきをえました。

改善したシートを活用する際、生徒をグループに分けて、今後取り組む学習内容を共有するような作業を取り入れてみたいと思います。前向きな振り返りと見通しを共有することで、よい影響を与え合う関係づくりを促したいです。振り返りシートという一見個人的なツールが、生徒同士をつなぐツールに発展すればうれしいです。

赤尾先生プロフィール 教職歴3年。同校に赴任して2年目。進路指導部・理科（生物）担当。「努力を促す立場の者が努力する姿を見せないでどうする」という言葉を忘れず、日々全力疾走

学校プロフィール 全日制／普通科（普通コース、国際コミュニケーションコース）／共学／1学年約360人／2018年度入試合格実績（現役のみ）／国公立大は、東京大、京都大、大阪大、広島大などに199人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、同志社大などに延べ375人が合格。

質の高い振り返りとはどのようなものを理解させる

千葉県立君津高校 小山和紀 こやま・かずき



模擬試験の個人成績表を基に振り返りをさせると、できなかった単元や分野を挙げるばかりで、「どうすればできるようになるのか」と、日々の学習に結びつけた見通しを立てるのが苦手な生徒がいます。そうした生徒には、日々の授業を通して、振り返りの力を育むことが大切です。私は担当の数学で、その日の授業の内容が理解できたかどうか、授業では能動的に活動できたかどうかという2つの観点で振り返りをさせ、どうすればもっとうまくいくかを書かせるようになっています。「なぜ、うまくいかなかったのか」ではなく、「どうすればうまくいくのか」と授業の度に聞くことで、生徒は少しずつ「こうしてみようと思う」と、今後の学習行動を前向きに語れるようになります。

プラス思考の振り返りができるようにするにはある程度時間がかかりますが、生徒に変化が見えた時は、ほかの生徒の学習方法などを例示して、「真似をしてみては？」などと働きかけ、成長を促すチャンスとして生かしていきたいです。

小山先生プロフィール 教職歴18年。同校に赴任して8年目。数学科担当。「いつも『謙虚』に『感謝』の気持ちを持って、先生方や生徒と接することを心がける」

学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約280人/2018年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、千葉大、静岡大、愛媛大、千葉県立保健医療大などに8人が合格。私立大は、青山学院大、駒澤大、芝浦工業大、日本大、法政大、明治学院大などに延べ294人が合格。

自己分析する力を生徒に育む丁寧な啓発を

兵庫県立北条高校 衣川顕子 きぬがわ・あきこ



模擬試験の振り返りを行う時、成績がわずかでも上がった教科・科目について、特に丁寧に振り返らせるようにしています。何をしたらから成績が上がったのかを生徒に尋ね、「もっと続けてみよう」「ほかにもできないことはない？」と励まします。学習に自信のない生徒にこそ、まずはよいところに目を向けさせたいです。そして、教師間での振り返りも、具体的であるべきです。自分たちの指導のどこに課題があるから生徒はその成績なのか、生徒が学力を向上させるために私たちが行動に移すべきことは何かを具体的に語れば、おのずと授業も変わっていくはず。改訂したシートの「オスメ勉強法」は、私たちにとって日々の指導の再確認の機会にもなるでしょう。

これからの生徒には、自己分析する力がますます求められています。しかし、そうした力は自然と育つものではありません。生徒が「自分のことを変えていきたい」と自己を理解し、行動できるよう啓発を続けていきたいと思えます。

衣川先生プロフィール 教職歴30年。同校に赴任して6年目。人間創造コース委員長。英語科担当。「生徒のやる気を起こさせる着火剤を目指し燃焼系教師でありたい」

学校プロフィール 全日制/普通科、人間創造コース/共学/1学年約160人/2018年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、静岡大、岡山大、兵庫県立大などに12人が合格。私立大は、京都産業大、関西大、近畿大、関西学院大などに延べ159人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①~④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認ください

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時~21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。